

令和元年度 第1回中野市環境審議会 会議録

1 日 時

令和元年6月25日（火）午前9時から午前11時まで

2 場 所

中野市市民会館 42号会議室

3 出席者

【審議会委員】

清野信行会長、佐々木真副会長、小林之美委員、海谷栄治委員、馬場広一委員、鈴木富夫委員、成合宣孝委員、丸山耕司委員、小山むつ子委員、丸山久治委員、中村幹夫委員、町田とし子委員、鶴田恵子委員

（13名）

【事務局（くらしと文化部環境課）】

小橋くらしと文化部長、町田環境課長、清水環境課長補佐、小林衛生係長、環境係小松副主幹

4 傍聴者

なし

5 内 容

- (1) 開会
- (2) 環境審議会の概要説明
- (3) 正副会長の互選について
会長 清野信之委員、副会長 佐々木真委員 を選出
- (4) 会議事項

① 水清きふるさとの水質保全計画（地域再生計画）の中間評価について

【会長】 それでは、会議事項（1）の「水清きふるさとの水質保全計画の中間評価について」を議題といたします。それでは、事務局から説明をお願いします。

（事務局説明）

【会長】 ただいま事務局から説明がありましたが、中間評価（案）について、環境審議会の意見を聞いたうえで最終決定することです。質問、ご意見がありましたら、お願いいたします。

【委員】 計画の名称ですが、「水清きふるさとの水質保全計画」とされていますがどういう経過で名称が決定したのですか。

【係長】 浄化槽整備とし尿投入施設の整備の計画で、整備することで水もきれいになり、水質保全にもつながるからです。

【委員】 飯綱地域に現在最終処分場建設計画があるが、この計画ではまったく触れられていない。地元では問題になっているが、市ではこの情報が入っているのか状況を教えていただきたい。

【部長】 その他の項目で、現状を説明させていただく予定としています。水清きふるさとの水質保全計画ですが地方創生を目的とした計画で、浄化槽の整備と豊田

衛生センターの閉鎖に伴い中野浄化管理センターにし尿等投入施設を設置し、下水処理と同様の水処理を行うもので、事業費のうち国からの補助金を約半額予定しています。

- 【委員】 下水道等の配管について、古くなると交換などあると思うんですが、下水道ではなくていいのですか。
- 【部長】 交換は必要で、建設水道部で計画的に交換を行っています。
- 【委員】 水環境保全について触れられているが、単独で環境啓発をするのではなく、ほかの分野の催し等でも水保全などの環境啓発パネル掲示等を行うことが大切だと思うので、協力もするので考えてもらいたいと思います。
- 【課長】 今後の環境課の取組については次の項目でお話ししたいと思っていますのでよろしくお願いします。
- 【課長】 資料に汚水処理人口普及率が平成31年で96.1%とあるが、汚水処理は、家庭からのすべての汚水のうち、約4%弱が生活雑排水は側溝へ、トイレ汚水はバキュームカーが行って処理を行っていると考えていいか。
- 【係長】 汚水処理人口普及率は、下水道と農業集落排水施設の供用開始区域内人口と浄化槽の処理の人口ということで、おおむねご質問のとおりですが、下水道等区域内でも未接続世帯もあるので4%よりは多くなると思われます。
- 【委員】 今、街中で高齢者が住んでいたが今は空き家になっている家が多くあるがその辺はこの数字に対してどのように扱われているか。もう一点、古いアパートがあり、トイレは汲み取り式、雑排水は側溝へ流れている。時期的には、周囲に悪臭が出ることもあるが、市では指導等は行っているのか。
- 【係長】 側溝の臭いについては、広報で適正管理を周知したいと考えている。また、個別に事例があれば、ご相談いただければ対応したいと考えています。前段の空き家の対応ですが、人口をもとに数字を出しているので、数字にはカウントされていません。
- 【委員】 上下水道本管の耐用年数はどの程度なのか。
- 【係長】 概ね40～50年だと思われます。
- 【委員】 指標1ですが、中間実績の数値が最終目標値を超えているので、評価内容は、最終目標も達成できるようにではなく、さらに普及するようになど表現を変えてはどうか。指標3の中間実績の要因を教えてください。また、合併処理浄化槽の設置や下水道接続を推進する施策をしていただきたい。補助額の拡大や、期限を切ったの設置を促すなど工夫して行えばと思います。
- 【委員】 指標3の経費が、中間実績の段階でなぜこんなに削減されているのか。
- 【係長】 し尿処理経費については、豊田衛生センターの閉鎖に伴い、必要最低限の修繕にとどめていたため、経費が少なくて済んだということです。
- 【委員】 豊田の衛生センターは最終的には取り壊すのか。時期はいつ頃か。
- 【部長】 北信保健衛生施設組合の議会に解体の議案が提出されているので、認められれば解体となります。
- 【係長】 指標1については中間実績で最終目標値を超えていますので、中間評価の表

現については改めたいと思います。

【課長】 補助金の関係は上下水道課が担当していますので、担当課にお伝えておきたいと思います。

【部長】 下水道及び浄化槽の普及を進めたいが、高齢者世帯が多くなり、何百万の投資をできないという現状もあるが、意見を尊重し進めていきたいと思います。

【会長】 ただいま各委員から意見をいただいたわけですが、先ほど事務局から説明がありましたとおり、本日出されました意見を参考に、中間評価（案）の最終決定をしていただけたらと思います。

② 国の海洋プラスチックごみ対策アクションプランに対する中野市の対応について

【会長】 続きまして、(2)「国の海洋プラスチックごみ対策アクションプランに対する中野市の対応について（案）」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

（事務局説明）

【委員】 環境だけでなく、防災や平和学習など、あらゆる分野のものを一緒にパネル展示した方が良いと思います。モデル地区やエリアを設けて、その地域ではあらゆる分野の関係者が集まり、一緒に活動してごみの全く落ちていない環境づくりをして、その地域を見本として全市へ広まっていくのではないかと思います。

【部長】 エリアを決めてという意見は参考にさせていただきます。

【委員】 他の市では、道を指定してポイ捨て喫煙の禁止をしている。中野市ではそのような考えはないのか。

【課長】 禁煙関係は関係課へ伝えていきたいと思います。ポイ捨てについては、啓発していなかった状況もありますので、まずは国道292で活動を始めて、状況を見て重点地域化も考えていきたいと思います。

【委員】 資源物回収報奨金について、5円から3円に下げたとあるが、単価はkgかtかどちらか、単価は当面このままか。

【課長】 単価はkg単価です。昨年に中野市の補助金の見直しがあり、財政サイドからはさらなる引き下げ要請はあるが、環境課としては、捨てればごみ、回収すれば資源という考え方を、子供たちに浸透させていきたい。また、地域のみなさんも、PTAの資源回収のために、ほかの回収に出さずに残しておいて協力するという地域機運も中野市にはあると思うので、そのことを大切にするためにも現状を維持し、できれば5円に戻したいと思います。

【委員】 ぜひ頑張ってもらいたいと思います。

【委員】 合同庁舎付近の信号のある交差点ではポイ捨てが非常に多い。ゴミ拾いを行ったところをから順に、安くて長く咲く花もありますので少しずつ植えていけたらいいなと思います。

【課長】 提案内容のゴミ拾いを今年は取り組んで、お話しした内容も今後検討していったらと思います。

【委員】 マイバックの配布など書いているが、スーパーではレジ袋の削減の取組が見

えるが、コンビニでは店も消費者も意識が薄いと思うので、会議等の機会に呼びかけを行ってほしい。

【委員】 事業案に市内小中学生・市民を対象としたとあるが、市内の高等学校もゴミ拾いの活動を行っているので、そこへもゴミ袋配布等で協力していき公表できるようにすればよい。資源回収の報奨金も、本来やっていただきたいことなので、市は推進する立場なので5円に戻すことを頑張ってもらいたい。表彰については、環境美化活動は多くの団体が行っているので、ゴミ袋を提供する、東山クリーンセンターへのごみの搬入を、無料にするなどの支援があるといい。講演会については、高くても、講演を録画して各小中学校の授業で視聴できればいいと思うのでぜひ交渉してもらいたい。

【課長】 高校での活動も承知をしていますので、評価して表彰等していければよいのかなと思います。講演会のビデオ録画も交渉はしていきたいと思います。

【委員】 外国籍の方に、防災のように外国語のチラシを作ってはどうかと思います。

【委員】 公害防止指導員や環境課の職員の方が不法投棄のパトロールを結構やっているように思いますが、過去に行政指導や刑事的な摘発等があったのですか。

【補佐】 不法投棄があれば警察に情報提供、投棄物に氏名等があれば家に行って警察には捜査して事件化できれば事件化、そうでないものは警察と市で指導をしています。ある場所で家庭ごみが散乱していることがあり、行為者を特定し、それまで回収したごみをすべて届けて自分で処分をさせました。

【委員】 過去に1件だけですか。

【補佐】 当然指導は数多く行っておりますが、摘発について件数等は公表等行っておりませんので、事例として検挙はしてますとお話しするにとどめます。

【委員】 公害防止指導員の14名には何か根拠があるのですか。

【課長】 基本的には各地区1名、中野地区のみ3名お願いして全員で14名となっております。

【委員】 なるべく多くしていただいて、我々も参加できるようにしていただければと思います。

【委員】 遊戯施設の片隅に、古い消火器が置いてあったのですが、直接話すのも怖かったので話さなかったのですが、どこに相談をすればよいでしょうか。

【補佐】 基本的には、施設管理者に話していただけたらと思います。それで施設管理者のものでないとなれば、警察に相談することになるが、所有者が特定できなければ、施設管理者で処分をするか、難しければ市でもできる限りのことは行います。一概にどこに相談というものはないのですが、基本的には施設管理者と話すことです。

【委員】 パネルを学校に設置していただいたが、子供たちが見ながら話をしている姿も見られました。啓発活動は大事だと思いました。環境問題は社会科の授業の中にもあり、ゴミ処理場の見学も行っています。学校の中での学習も地道にやっっていかなければいけないなと話を聞いて感じました。中野市の環境問題を子供たちがどうしたら意識していけるかと考えたが、啓発活動が非常に大事だと

思います。指導員の活動も子供たち知らないと思います。周りのみんなが中野市をきれいにするために頑張っているということ、道路をきれいにする活動も大事だが、子供がやらされている感を持ってしまうとマイナス要素を含んでしまうので、中野市はこんなことを大事にしているんだということが市として盛り上がれば、親子間で情報が伝わりみんなできれいにするんだということが根付いていくことになると思います。

【課長】 今日いただいたご意見を参考にさせていただいて、実施に向けて計画をしたいと思いますので、案ができればもう一度ご意見をいただく会議を、7～8月にしたいと考えていますのでお願いいたします。

【会長】 非常に闊達なご意見ありがとうございました。以上を持ちまして会議事項を終了したいと思います。

(5) その他

- ① 畑に大量に投入される廃オガたい肥について
- ② 飯綱町芋川地籍における廃棄物最終処分場の建設計画について

(6) 閉会